

1

解答解説のページへ

座標平面上に 2 点 $P(0, 2)$, $Q(1, 0)$ をとる。また, t を実数とし, 放物線 $y = (x-t)^2$ を C とする。次の問いに答えよ。

- (1) C が P を通るときの t の値を求めよ。
- (2) C が直線 PQ に接するときの t の値と接点の座標を求めよ。
- (3) 線分 PQ と C の共有点の個数が t によりどのように変化するか記述せよ。

2

解答解説のページへ

O を原点とする座標空間において四面体 $OABC$ を考える。 $\triangle ABC$ の重心を O' 、 $\triangle OBC$ の重心を A' 、 $\triangle OCA$ の重心を B' 、 $\triangle OAB$ の重心を C' とする。次の問いに答えよ。

- (1) 2つのベクトル \overrightarrow{OA} と $\overrightarrow{O'A'}$ は平行であることを示せ。
- (2) $|\overrightarrow{OA}|$ と $|\overrightarrow{O'A'}|$ の比を求めよ。
- (3) $\triangle OAB$ と $\triangle O'A'B'$ は相似であることを示せ。
- (4) A が $P(1, 0, 0)$ と $Q(0, 2, 0)$ を結ぶ線分の midpoint, B が Q と $R(0, 0, 3)$ を結ぶ線分の midpoint, C が R と P を結ぶ線分の midpoint であるとき、四面体 $OABC$ の体積 V と四面体 $O'A'B'C'$ の体積 V' を求めよ。

3

解答解説のページへ

$m > 0$ とする。座標平面上の点 P に対して、 P を通る傾き m の直線と y 軸の交点を R とし、点 Q を $\overrightarrow{RQ} = m\overrightarrow{RP}$ となるように定める。次の問いに答えよ。

- (1) P の座標を (a, b) とするとき、 Q の座標を m, a, b を用いて表せ。
- (2) 点 P が放物線 $y = x^2 - x$ 上を動くとき、対応する点 Q の軌跡を C とする。 C の方程式を $y = f(x)$ とするとき、 $f(x)$ を求めよ。
- (3) (2) の $f(x)$ に対し、 $I(m) = \int_0^m f(x) dx$ とする。 m を $m > 0$ の範囲で変化させるとき、 $I(m)$ を最小にする m の値を求めよ。

4

解答解説のページへ

1 枚の硬貨を何回も投げ、表が 2 回続けて出たら終了する試行を行う。ちょうど n 回投げた時点で終了する確率を P_n とするとき、次の問いに答えよ。

- (1) P_2 を求めよ。
- (2) P_3 を求めよ。
- (3) P_4 を求めよ。
- (4) $P_5 < \frac{1}{2}$ であることを示せ。

1

(1) 放物線 $C: y = (x-t)^2 \cdots \cdots \textcircled{1}$ が $P(0, 2)$ を通るとき、
 $2 = t^2$ から $t = \pm\sqrt{2}$ である。

(2) 放物線 $\textcircled{1}$ と直線 $PQ: y = -2x + 2 \cdots \cdots \textcircled{2}$ を連立すると、
 $(x-t)^2 = -2x + 2$ となり、

$$x^2 - 2(t-1)x + t^2 - 2 = 0 \cdots \cdots \textcircled{3}$$

C と PQ が接するとき、

$$D/4 = (t-1)^2 - (t^2 - 2) = -2t + 3 = 0$$

よって、 $t = \frac{3}{2}$ である。

このとき、 $\textcircled{3}$ から $x = t - 1 = \frac{1}{2}$ 、 $\textcircled{2}$ から $y = 1$ となり、接点の

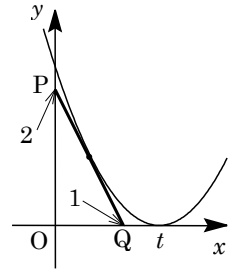
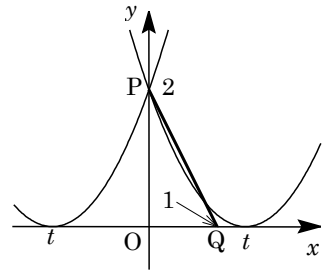
座標は $(\frac{1}{2}, 1)$ である。

(3) 線分 PQ と C の共有点の個数は、(1)(2)の図を参考にして、

$t > \frac{3}{2}$ のとき 0 個、 $t = \frac{3}{2}$ のとき 1 個、 $\sqrt{2} \leq t < \frac{3}{2}$ のとき 2 個

$-\sqrt{2} \leq t < \sqrt{2}$ のとき 1 個、 $t < -\sqrt{2}$ のとき 0 個

問題のページへ



[解説]

放物線と直線の関係を図にした基本的な問題です。(1)(2)の設問から、(3)の結論は図から判断しています。

2

問題のページへ

- (1) 四面体 $OABC$ において, $\triangle ABC$, $\triangle OBC$, $\triangle OCA$, $\triangle OAB$ の重心を, それぞれ O' , A' , B' , C' とする。

$$\begin{aligned}\overrightarrow{OA} &= \vec{a}, \quad \overrightarrow{OB} = \vec{b}, \quad \overrightarrow{OC} = \vec{c} \text{ とおくと,} \\ \overrightarrow{OO'} &= \frac{1}{3}(\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}), \quad \overrightarrow{OA'} = \frac{1}{3}(\vec{b} + \vec{c}) \\ \overrightarrow{OB'} &= \frac{1}{3}(\vec{a} + \vec{c}), \quad \overrightarrow{OC'} = \frac{1}{3}(\vec{a} + \vec{b})\end{aligned}$$

$$\text{すると, } \overrightarrow{O'A'} = \frac{1}{3}(\vec{b} + \vec{c}) - \frac{1}{3}(\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}) = -\frac{1}{3}\vec{a} = -\frac{1}{3}\overrightarrow{OA}$$

となり, \overrightarrow{OA} と $\overrightarrow{O'A'}$ は平行である。

- (2) $|\overrightarrow{O'A'}| = \frac{1}{3}|\overrightarrow{OA}|$ より, $|\overrightarrow{OA}| : |\overrightarrow{O'A'}| = 3 : 1$ である。

- (3) (1)と同様にして, $\overrightarrow{O'B'} = \frac{1}{3}(\vec{a} + \vec{c}) - \frac{1}{3}(\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}) = -\frac{1}{3}\vec{b} = -\frac{1}{3}\overrightarrow{OB}$

$$\overrightarrow{A'B'} = \frac{1}{3}(\vec{a} + \vec{c}) - \frac{1}{3}(\vec{b} + \vec{c}) = -\frac{1}{3}(\vec{b} - \vec{a}) = -\frac{1}{3}\overrightarrow{AB}$$

すると, $|\overrightarrow{OB}| : |\overrightarrow{O'B'}| = 3 : 1$, $|\overrightarrow{AB}| : |\overrightarrow{A'B'}| = 3 : 1$ となり, 3組の辺の長さの比が等しいので, $\triangle OAB$ と $\triangle O'A'B'$ は相似である。

- (4) $P(1, 0, 0)$, $Q(0, 2, 0)$, $R(0, 0, 3)$ に対して, 点 A, B, C は, それぞれ線分 PQ, QR, RP の中点である。

ここで, 四面体 $OPQR$, 四面体 $OABC$, 四面体 $O'A'B'C'$ の体積を, それぞれ V_0, V, V' とすると,

$$V_0 = \frac{1}{3} \left(\frac{1}{2} \cdot 1 \cdot 2 \right) \cdot 3 = 1$$

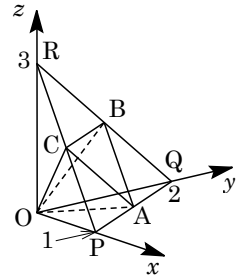
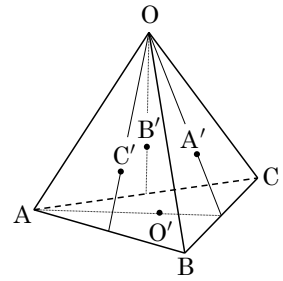
$$\triangle ABC = \left(\frac{1}{2} \right)^2 \triangle PQR = \frac{1}{4} \triangle PQR \text{ より,}$$

$$V = \frac{1}{4} V_0 = \frac{1}{4}$$

- (3)と同様にして, $\overrightarrow{O'C'} = -\frac{1}{3}\overrightarrow{OC}$, $\overrightarrow{B'C'} = -\frac{1}{3}\overrightarrow{BC}$, $\overrightarrow{C'A'} = -\frac{1}{3}\overrightarrow{CA}$ となる。

すると, 四面体 $OABC$ と四面体 $O'A'B'C'$ は相似で, その比は $3 : 1$ より,

$$V' = \left(\frac{1}{3} \right)^3 V = \frac{1}{27} \cdot \frac{1}{4} = \frac{1}{108}$$



[解説]

空間ベクトルの四面体への応用問題で, 基本的な内容です。

3

問題のページへ

- (1) 点
- $P(a, b)$
- を通り傾き
- $m (m > 0)$
- の直線の方程式は、

$$y - b = m(x - a), \quad y = mx - ma + b$$

この直線と y 軸の交点 R は $R(0, -ma + b)$ となる。ここで、 $\overrightarrow{RQ} = m\overrightarrow{RP}$ より、

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OQ} &= \overrightarrow{OR} + m(\overrightarrow{OP} - \overrightarrow{OR}) = (1 - m)\overrightarrow{OR} + m\overrightarrow{OP} \\ &= (1 - m)(0, -ma + b) + m(a, b) = (ma, m^2a - ma + b) \end{aligned}$$

よって、 $Q(ma, m^2a - ma + b)$ となる。

- (2) 点
- P
- が放物線
- $y = x^2 - x$
- 上を動くとき、
- $b = a^2 - a \cdots \cdots \textcircled{1}$

ここで、 $Q(x, y)$ とおくと、 $x = ma \cdots \cdots \textcircled{2}$ 、 $y = m^2a - ma + b \cdots \cdots \textcircled{3}$ $\textcircled{1}\textcircled{3}$ より、 $y = a^2 + (m^2 - m - 1)a$ となり、 $\textcircled{2}$ から $a = \frac{x}{m}$ を代入すると、

$$y = \left(\frac{x}{m}\right)^2 + (m^2 - m - 1) \cdot \frac{x}{m}, \quad y = \frac{x^2}{m^2} + \left(m - 1 - \frac{1}{m}\right)x$$

点 Q の軌跡の方程式を $y = f(x)$ とすると、 $f(x) = \frac{x^2}{m^2} + \left(m - 1 - \frac{1}{m}\right)x$ である。

- (3)
- $I(m) = \int_0^m f(x) dx = \int_0^m \left\{ \frac{x^2}{m^2} + \left(m - 1 - \frac{1}{m}\right)x \right\} dx$

$$= \left[\frac{x^3}{3m^2} + \left(m - 1 - \frac{1}{m}\right) \frac{x^2}{2} \right]_0^m = \frac{m}{3} + \left(m - 1 - \frac{1}{m}\right) \frac{m^2}{2} = \frac{m^3}{2} - \frac{m^2}{2} - \frac{m}{6}$$

すると、 $I'(m) = \frac{3}{2}m^2 - m - \frac{1}{6} = \frac{1}{6}(9m^2 - 6m - 1)$ $I'(m) = 0$ の正の解は $m = \frac{1 + \sqrt{2}}{3}$ となり、 $I(m)$ の増減は右表のようになる。これより、 $I(m)$ を最小にする m の値は $m = \frac{1 + \sqrt{2}}{3}$ である。

m	0	...	$\frac{1 + \sqrt{2}}{3}$...
$I'(m)$		-	0	+
$I(m)$		\searrow		\nearrow

[解説]

軌跡と微分法の融合問題です。ただ、どちらも基本の確認のレベルです。

4

問題のページへ

- (1) 硬貨を何回も投げ、表が 2 回続けて出たら終了する試行を行う。

このとき、2 回投げた時点で終了するのは、表→表の場合で、その確率 P_2 は、

$$P_2 = \left(\frac{1}{2}\right)^2 = \frac{1}{4}$$

- (2) 3 回投げた時点で終了するのは、裏→表→表の場合で、その確率 P_3 は、

$$P_3 = \frac{1}{2} \times \left(\frac{1}{2}\right)^2 = \frac{1}{8}$$

- (3) 4 回投げた時点で終了するのは、任意→裏→表→表の場合で、その確率 P_4 は、

$$P_4 = 1 \times \frac{1}{2} \times \left(\frac{1}{2}\right)^2 = \frac{1}{8}$$

- (4) 5 回投げた時点で終了するのは、任意→任意→裏→表→表の場合から、表→表→裏→表→表の場合を除けばよいので、その確率 P_5 は、

$$P_5 = 1^2 \times \frac{1}{2} \times \left(\frac{1}{2}\right)^2 - \left(\frac{1}{2}\right)^2 \times \frac{1}{2} \times \left(\frac{1}{2}\right)^2 = \frac{1}{8} - \frac{1}{32} = \frac{3}{32}$$

すると、 $P_5 < \frac{1}{2}$ が成り立つ。

[解説]

確率の基本問題です。「ひっかけが何かあるのでは」と疑ってしまいますが……。